

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成23年10月27日(2011.10.27)

【公表番号】特表2010-539909(P2010-539909A)

【公表日】平成22年12月24日(2010.12.24)

【年通号数】公開・登録公報2010-051

【出願番号】特願2010-526115(P2010-526115)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	9/107	(2006.01)
A 6 1 K	9/127	(2006.01)
A 6 1 K	47/44	(2006.01)
A 6 1 K	47/24	(2006.01)
A 6 1 K	47/28	(2006.01)
A 6 1 K	31/7105	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	A
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	9/107	
A 6 1 K	9/127	
A 6 1 K	47/44	
A 6 1 K	47/24	
A 6 1 K	47/28	
A 6 1 K	31/7105	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	31/00	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	9/10	1 0 1
A 6 1 P	25/00	

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月9日(2011.9.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

疎水性物質の連続相を含む担体と、

リポソームと、

ポリヌクレオチドと
を含む組成物。

【請求項 2】

前記担体が、油性又は油中水型エマルションである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記油が、天然油又は合成油である、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記油が、鉱油、植物油又は堅果油である、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記担体が、油の混合物を含む、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 6】

前記リポソームが、リン脂質を含む、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 7】

前記リポソームが、コレステロールを含む、請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 8】

前記リポソームが、ジオレオイルホスファチジルコリン (DOPC) 及びコレステロールを含む、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 9】

前記ポリヌクレオチドが、アンチセンス RNA、干渉 RNA、触媒 RNA、リボザイム又はポリペプチドをコードする、請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 10】

アジュバントをさらに含む、請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 11】

前記ポリヌクレオチドが、哺乳動物細胞において機能性のプロモーターに作動可能に連結されている、請求項 1 から 10 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 12】

前記ポリヌクレオチドが発現プラスミドに挿入されている、請求項 1 から 11 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 13】

前記ポリヌクレオチドを含む細菌ベクター又はウイルスベクターを含む、請求項 1 から 12 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 14】

前記ポリヌクレオチドが、

(a) 前記リポソーム内に封入されて、

(b) 前記リポソームの外部に、又は

(c) 前記リポソーム内に封入されていると前記リポソームの外部の両方に存在する、請求項 1 から 13 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 15】

前記アジュバントが、

(a) 前記リポソーム内に、

(b) 前記リポソームの外部に、又は

(c) 前記リポソーム内と前記リポソームの外部の両方に存在する、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 16】

請求項 1 から 15 のいずれか一項に記載の組成物及びポリヌクレオチドを被験者に送達するために前記組成物を使用するための指示書を含むキット。

【請求項 17】

ポリヌクレオチドを被験者に送達するための、請求項 1 から 15 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 18】

前記被験者が哺乳動物である、請求項17に記載の組成物。

【請求項 19】

前記哺乳動物がヒトである、請求項17に記載の組成物。

【請求項 20】

リポソーム、ポリヌクレオチド、及び疎水性物質の連続相を含む担体を組み合わせることを含む、組成物を作製するための方法。

【請求項 21】

前記ポリヌクレオチドが前記リポソーム内に封入されている、請求項20に記載の方法。

【請求項 22】

前記リポソームを、前記担体と組み合わせる前に脱水する、請求項20又は21に記載の方法。

【請求項 23】

前記ポリヌクレオチドが、請求項1から22のいずれかにおいて定義されるポリヌクレオチドである、請求項20から22のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 24】

前記リポソームが、請求項1から23のいずれかにおいて定義されるリポソームである、請求項20から22のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 25】

前記担体が、請求項1から24のいずれかにおいて定義される担体である、請求項20から22のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 26】

請求項20から25のいずれか一項に記載の方法によって生産される組成物。